



岐阜県教育委員会

第4次岐阜県教育振興基本計画

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

- 施策Ⅰ「豊かな人間性の育成」
○施策Ⅱ「未来を創る確かな学力と実践力」の育成
○施策Ⅲ「健やかな体」の育成
○施策Ⅳ「学びの多様なニーズに応える環境」の充実

飛騨教育事務所の基本方針

ふるさとを愛し、ふるさとに誇りをもち、「未来を切り拓く子」、「たくましく生き抜いていく子」を育てる

白川村教育の方針と重点

白川村の自然と文化を守り、高い志とグローバルな視野を持ち、「結」の精神に基づく豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として「ひとりだち」できる「一流の白川びと」として、将来の白川村の「担い手」となる人材の育成

(白川村教育大綱【令和4年度～令和8年度】)

白川郷学園の学校課題

- ・素直で明るく、人のために誠実に働くことができるよさを伸ばしたい
・基礎的・基本的な学力が定着できるようにしたい
・目標に向かって失敗を恐れず挑戦し、最後までやり抜く力を育てたい
・現状に満足せず、新たなものや新しい価値を生み出す創造力を育てたい
・自分や集団を高めようと自分から願いをもって動く力を育てたい
*飛騨教育事務所指定研修校(9年目の公表会)

白川村教育の教育目標

心豊かで、たくましい、白川村の未来を担う人づくり

白川郷学園の教育目標

ひとりだち

挑戦

創造

貢献

育成をめざす資質・能力

志を高くもって失敗を恐れず挑戦し、最後までやり抜く力

互いのよさや違いを認め合いながら新たな価値を創り出す力

自分も他人も幸せになることを考え、行動できる力

「オール白川郷学園」としての指導の重点

学びづくり

子どもを主語にした学びへの転換、指導観のアップデート

- ◆義務教育学校としての特徴を最大限に生かす
○子ども側から見る、恒常的な授業改善
○9年間の系統性・発展性【縦のつながり】を踏まえた低学年からの教科担任制による専門的で丁寧かつ楽しい指導
○教科センター方式と教室以外の学びの場(地域教材)等の選択肢のある授業

- ◆二学期制導入のメリットを生かす
○ゆっくりじっくり繰り返し…

自己調整しながら基礎的・基本的な内容を確実に定着できる学び

- ・単元、題材全体の中の本時という捉え
・児童生徒自らが知識・技能等を獲得していく学び
・単元テストと学習カルテを生かした児童生徒の学習サイクルの確立(期末テストの廃止)

仲間と協働し、新たな価値や納得解を創造する探究的な学び

- ・教科と教科、教科と村民学のつながり【横のつながり】を児童生徒が実感できる授業
・意志ある学びを生み出す課題づくりや自己選択・自己決定がある授業
・教え合いではなく学び合いのある授業
・学びを実感し、新たな学びにつなぐフレキションのある授業

心づくり

他者の生命の尊厳の尊重、豊かな心を養う感動体験の充実

非認知能力を高め、生き抜く力を育む豊かな心、たくましい体づくり

- ・誰一人取り残さない安心・安全な居場所づくり、#づくり(通級指導教室「まなび」、校内支援教室「ひかり」の新設)
・その子のよさを引き出し、自信に結ぶ特別支援教育の充実
・自己肯定感・有用感を高める「よさ見つけ」
・レジリエンスを高める温かい教育相談の充実やエクササイズ
・ヘルスリテラシーを高める、食育の推進
・保小連携の推進(育ってほしい10の力をつなぐ)

自分も仲間も大切にするためによく考え、行動できる人権教育の推進

- ・「白川郷学園人権宣言」を核とした日常の取組のRefine(人権教育推進事業の成果)
・噂や偏見に惑わされることなく、確かな事実に基づいて言動できる子に

白川村の将来の創り手を育てる村民学のアップデート(ゆるやかにアントレへ)

- ・【ふるさと学習】白川村の教育資源を生かした本物体験を通じて白川村を徹底的に学ぶ
・【ひとりだち学習】白川村の困りごとに目を向け、解決策に挑み、トライ&エラーにより新たな価値を創り出す学び(アントレプレナーシップ教育)

仲間づくり

活動と活動をつなぎ、自主的・自治的な態度を身に付ける

当事者意識をもち、自分や自分たちの生活をよりよくしようと取り組むことができる活動づくり

- ◇児童生徒会活動、LP活動
自治力を高め、機動力・創造力・発信力のある活動、異学年とのコラボ活動
◇ブロック活動
・4-2-3制を生かした活動・集会の工夫
・ブロック担任制
◇学級経営
学級目標を核に、活動と活動を線でつなぎ、成果を一人ひとりの生き方に
・規範の確立(年度当初)
・組織的な動きの確立
・今年の学級文化の創造
◇結クラス
日常から異学年縦割り(結クラス)を生かしたピアサポート体制づくり

自己指導能力を高める活動づくり

- ◇なりたい自分
なりたい自分に基づくよさ見つけ、成長の実感、高みをめざして定期的更新
◇本物感動体験
その道のプロから本物の「生き方」「考え方」を学ぶ心揺さぶる学習

地域と共にある学校 学校運営協議会とのアライアンス

義務教育学校パイオニア校として9年間の成果・新たなステージへ

めざす学園像

ワクワク登校し、失敗も許される中で生き生き活動し、教職員も子どもも未来に向けて成長し合える学園

指導の構え「当事者意識をもち主体的に参画＝働き甲斐改革＝教職員と子どもの Well-being の向上」

- 全教職員で、全児童生徒を育てる「オール白川郷学園」
・経年による経験やプライドから考えるのではなく、どの教職員からも学び合う
・姿が変わるまでが指導、心が変わるまでが支援→「指導しきる」「関わりきる」
○確かな事実を踏まえ、「目指す姿」、「指導の方途」を具体化する
・子どもに徹してつく、見ようとして見る、心の声を聴く
・顕微鏡でしか見えないようなよさでも認め、励まし、伸ばす
・事実で子どもを語り、成長や変化を喜び合える職員集団
・報告・連絡・相談、一人で抱え込まない
・事実のないうわさ、声の大きな者の主張に指導を曲げない
○子どもに失敗はつきものだという認識の下、子どもの挑戦に対する温かい眼差しと失敗に対する寛容さをもつ

- 前例にとらわれず、「今」、「この子」に軸足を置いた提案型学校運営～「どうしましょう？」から「こうします！」へ～
・子どもはそうしたいと思っているのか？
・子どもも、教師もワクワクする楽しさがあるのか？
・よいと思ったことは実践、意味はあとから考えるというプラグマティズムも
・形骸化、形の継承から脱却。その活動を始めたときに込めた理念こそ重要
○プロの教育者としてのプライドと向上心をもつ
・子ども、保護者、地域から信頼、尊敬、慕まれる教職員
・教師である前に子どもの最も身近な大人であれ
・ただし、先生であると肩肘はり続ける必要はない
・教育観、指導技術を常にアップデートし、教職員としての感性を磨く